

令和5年度 都城市立高崎小学校 学校評価

1 学校経営ビジョン

五気にあふれる たか・ザ・キッズの育成 ～ 校訓 「元気、勇気、やる気、根気、気配り」 ～

2 学校の教育目標

教育目標		五気にあふれる たか・ザ・キッズの育成			
めざす学校の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさついっぱいの学校 ○ 学びいっぱいの学校 ○ 夢いっぱいの学校 ○ 美しいいっぱいの学校 ○ 笑顔いっぱいの学校 	めざす児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> 元 気 たくましい子 勇 気 チャレンジする子 やる気 かしこい子 根 気 やり通す子 気配り やさしい子 たか・ザ・キッズ 	めざす教師の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情熱と責任をもち、職務に励む教師 ○ 研修に励み、指導力向上に努める教師 ○ 積極性・専門性のある教師 ○ 子供とともに学ぶ教師 ○ 愛情に溢れ、信頼される教師

3 学校評価の結果

「自己評価」・「自己評価の適切さ」 = 4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する

項目	教育的課題	ゴールイメージと達成手段	評価指標	アンケートでの肯定的回答の割合(%)			学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価		改善策
				児童	保護者	教師	成果と課題	自己評価	自己評価の適切さ	意見等	
知育	学力の向上	○基本的な学習習慣の定着	○家庭学習を毎日している。	84	87	100	○4月の参観日の全体懇談会で家庭学習のしおりを配布・説明を行い、1学期に「家庭学習頑張り取組週間カード」を設けることにより習慣化が図れたことの成果は大きいと感じた。 ○タブレットのルールなど難しい点もあるかと思うが、児童の多様な学び、教員の負担軽減を図るためにも、ICTを推進していただきたい。 ○ICT活用については、使用頻度の向上につれ、応用の幅も広がることは必然的かと思うが、学習以外の使用については、機械的にセーブするか、学校内でのルールの徹底が必要ではないか。 ○表現力の育成では、以前から宮日の「若い目」に高崎小の多くの児童の作品が投稿されていて、いろいろな体験等を文章にしていることは本当に素晴らしいと思う。 ○読書については改善が必要ではないだろうか。学校での読書が家庭での読書につながらない原因(例えば、時間の確保ができていないのか等)はどこにあるかを考えてみるとよいのではないか。	2	3	○来年度の参観日で、高崎中学校区で取り組んでいる「TSR(高崎スタディール)」、及び「9年間で身に付けてほしい力」を周知・啓発を行う。また、学習の見通しとして児童にも周知する。 ・忘れ物の指導については、家庭と連絡を取り合い準備をする習慣が定着していくようにする。また、個別に声掛けや支援を行う。 ・発達段階や文字を書く場面に応じた書き方の指導を行っていく。 ・教師は、「わかる・できる」授業の継続を行っていく。 ・タブレットを使うルールについて再度教師間での共通理解を行い、指導をする。 ・手を挙げて発表することだけが、自分の意見を表現する場とならないよう、授業内容を工夫していく。 ・「学習のきまり」の聞き方について、具体的な指導を継続していく。 ・日常的な読書推進や学校図書館サポーター・図書委員会と連携した取組により、読書が好きな児童を増やしていく。	
			○学習準備物の忘れ物がない。	90	84	88					
			○文字を正しく丁寧に書いている。	78	68	69					
		○基礎・基本の確実な定着	○毎日の授業がよく分かっている。	89	83	75					
		○ICT活用の推進	○タブレットの使い方が分かり、進んで活用している。	95	88	94					
		○表現力・思考力の育成	○自分から進んで発表している。 ○先生や友だちの話をよく聞いている。	68		75 63					
○読書活動の充実	○進んで本を読んでいる。(読書が好き)	80	47	75							
徳育	豊かな心の育成	○基本的な生活習慣の確立	○誰にでも進んであいさつができる。	83	73	50	○日頃の挨拶や返事の指導に加えて「あいさつ模範運動」などの取組を通して、挨拶や返事への意識が高まっている児童は増えている。 ○「さん」付けの指導の徹底が必要である。学校の場と少年団などの場で使い分けをする指導が大切である。 ○雑巾がけをするが、絞って片づけをすることや、雑巾を使って床を拭くことに、意欲が高まらない現状が見られる。 ○ボランティアへ積極的に取組む姿が見られる。しかし、個人差が見られる。	2	3	○道ですれ違う際には、元気よく挨拶してくれる児童が多い。 ○学校内だけでなく、地域でも進んで挨拶ができるような指導が必要である。 ○登校の様子を見ていると、個人差もあるがもう少し元気があるとよい。 ○挨拶については、ある程度できていると思うが、更に向上させるなら、中学生を交えて直接的に児童が経験することで習慣化が図れるのではと思う。 ○ボランティア等取組は、学校HPで発信しているので、情報が分かりやすい。	
			○気持ちのよい返事をする。	82	88	59					
		○いのちを大切にすする心の育成	○友だちを呼ぶときは、「さん」をつけて呼んでいる。	66		64					
			○友だちと仲良くし、親切にしている。	95	95	94					
○ボランティア心の育成	○進んで清掃やボランティアに取り組んでいる。	79		62							

項目	教育的課題	ゴールイメージと達成手段	評価指標	アンケートでの肯定的回答の割合(%)			学校の自己評価		学校運営協議会委員の評価		改善策
				児童	保護者	教師	自己評価	自己評価の適切さ	意見等		
										成果と課題	
		○安全教育の推進	○命を大切に安全に過ごしている。	93	/	88	○地区集会や登校班長会で登下校のルールを指導してきたことで、一列歩行での登校はできている。横断歩道の渡り方は今後の課題で、学校でも指導を続けていく。	○横断歩道では、左右や車の停止を確認して渡るように声掛けをしているので安全には十分気を付けている。	○登校時の児童の様子を時々見るが、一列縦隊で私語もなく登校できていると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での安全についての意識が児童と教師との間で差があるため、モデルを示していきたい。 ・廊下歩行が上手にできているクラスなどを、昼の放送で伝える活動を設けることで、よい姿を普及させる。 ・引き続き、下校前に交通安全の誓いを唱えさせ、その意義を伝える指導を継続する。 	
			○廊下歩行を守っている。	87	/	95	○安全な廊下歩行ができていない児童も見られるので、「はさみ歩行」の徹底を行う。				
			○交通のきまりを守っている。	97	94	/	○本校児童が、大きな事故もなく、1年過ごすことができた。交通のきまりを意識して生活した成果もあったのではないかな。				
体育	体力の向上	○食育を含む健康的な生活習慣の確立	○早寝早起きをしている。	86	82	/	○高崎地区共通で、保護者に呼びかけ、早寝・早起き・朝ごはんの習慣化が図られた。			○「早寝・早起き・朝ごはん」の保護者への呼び掛けは継続していただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ごはん・メディア運動がんばり週間」の取組を継続する。個人差がみられるため、学級担任と養護教諭が連携して、個別の保健指導を行う。 ・手洗いをするタイミング(トイレの後・給食前・体育や昼休みの後など)を明確にし、学級担任や委員会の児童が中心となって声かけや呼びかけを行う。家庭での手洗い・うがいについては、学級通信や保健だよりで啓発をしていく。 ・持久走やなわとび以外でも、体力テストの結果をもとに、今年度の重点目標を設定し、準備運動に取り入れるなどして体力向上を図る。また、体育の授業でも、単元ごとに目標を設定して意識づけを図る。 ・学級みんなで遊ぶ日を設定する。また、熱中症や感染症の危険が低い日には、外で遊ぶように学級で声掛けを行う。
			○朝食を毎日とっている。	96	97	/	○感染症対策への意識が少しずつ薄れてきている。声掛けをしなければ、手洗い・うがいを主体的にする児童は少ない。			○「早寝・早起き・朝ごはん」の保護者への呼び掛けは継続していただきたい。	
			○手洗い・うがいをしている。	89	76	62	○運動はしているが、目標を決めて運動に取り組むことには課題がある。			○基礎体力の向上の基本は、体力であり、体を動かすことであるため、せめて昼休みだけでも外で遊んでほしい。	
			○給食は、好き嫌いなく残さず食べている。	84	/	88	○外遊びについては、遊ぶ児童と遊ばない児童で個人差が大きい。	2	2		
		○基礎体力の向上	○目標を決めて、運動している。	84	/	62					
			○外で元気に遊んでいる。	75	85	94					
家庭・地域とともに	家庭・地域との連携	○コミュニティスクールの推進	○学校運営協議会の推進と活用を図る。	/	/	/	○学校運営協議会について、PTA総会の資料に入れ、役割や年間の活動を紹介し、「学校の応援団」として保護者へ周知した。			○委員として授業参観、オープンスクール、運動会に参加させていただき、児童の様子を観ることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の応援団」として学校運営協議会の役割や活動について、今後もPTA総会やホームページで紹介していきたい。
		○適切な情報提供	○学校は、教育方針や教育活動などについて分かりやすく伝えている。	/	90	/	○学校運営協議会の方々に、授業の様子、オープンスクール、運動会を参観していただいた。			○保護者のPTA離れが目立つような気がする。参加しやすく、魅力あるPTAの組織、活動が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、地域、保護者、PTAとの連携を図り、子どもたちの健全な育成につなげていきたい。
			○教師は、子どものことを理解し、適切に対応している。	/	89	/	○登下校の見守りをいただいているおかげで、事故なく安全に登校できた。			○毎年「方言学習」や「昔の語り」を通して、地域との交流が実施できている。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が参加しやすい、持続可能なPTAの組織・活動となるように検討していきたい。
		○家庭・地域との連携強化	○保護者は、PTA活動に積極的に参加している。	/	77	/	○学校便りや保健便り、学級通信等を定期的に発行し、学校の様子を伝えることができた。学校HPの更新に努めることができた。			○今後、空き教室の活用を検討し、実施することで、地域との交流がさらに広がるように社協として協力していきたい。	
○子どもは、地域や地区の行事に参加している。	70		70	/	○新型コロナウイルス感染症から第5類感染症に変更となり、地域や地区の行事が戻りつつある。しかし、児童減等により、行事が減ってきている現状もある。			○地域・地区の行事が、コロナの影響で取り止めの状態が続いていて、児童の参加も断たれているのが現状である。今後一日も早く復活し、地域伝統を継承できたらと思う。			